



国際医療福祉大学病院  
～連携通信～

第17号



### 病院長あいさつ

令和2年度も半年を過ぎました。今年度は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）で迎えました。例年であれば、年度の前半は新入職者を迎えての歓迎会、花見などの親睦会などの行事が目白押しですが、多数が集まる行事は3月中旬から制限されており、公式行事は一切しないで半年が経過しました。10月に入り東京都を含めて旅行や会合の規制が緩和され、Go To キャンペーンにより観光地などが混雑するようになってきましたが、医療従事者は慎重でなければならず、まだこの波に乗れない状況です。栃木県北におけるCOVID-19については、4月9日に第1例が報告されてから数例が発生し、その後、一旦収束しました。しかしながら、栃木県においては6月末から第2波が襲来し、第1波を超える感染者が発生しましたが、一方で前回に比べて軽症者が多い印象です。県北でも10月に感染者が出ましたがまだ少数であり、また幸いに当院を含めて、医療従事者の感染は現在のところありません。

病院長  
大和田 倫孝

当院でのCOVID-19対策としては、予定入院、緊急入院を問わず、入院患者全例でCOVID-19の検査を実施しています。また発熱外来を設けており、さらに地域の先生方から検査のご要望があれば、感染の可能性が低い場合でも全例お受けし検査しておりますので、必要があれば地域医療連携室を通してご連絡ください。

医学生の臨床実習に関しては、70名の医学生（4年生）が6月から開始しております。すでに4か月を過ぎましたが、COVID-19感染者を出すこともなく、中断することなく順調に臨床実習を続けています。

これから冬にかけてインフルエンザが流行する時期になります。一般診療を通常通り行い、その上でCOVID-19、インフルエンザへの対応を求められています。これまで経験したことのない恐れと長期間の対策の必要性を日々実感しながら、難しい舵取りをしております。

地域の先生方には今後ともご支援をお願い致します。



## コロナ蔓延期で持続可能な医療を目指す



COVID-19の国内流行第一波で栃木県は60人以上の患者が発生し、那須地区では8人の患者が発生しました。那須地区第一例目は4月9日に発生しています。7月頃から始まった第二波はピークが過ぎても10月現在で完全な収束はなく、全国で毎日500人前後の患者が出ています。栃木県の通算感染者数は400人を超えました。那須地区では通算16人になっています。今のところ県北地域は県南・県中央地域に比較すると大きなクラスターはなく、散発的な発生に止まっています。当施設は感染症指定医療機関ではありませんが、疑似症定点医療機関であることから、当初から保健所からの要請に対して発熱者・帰国者・接触者外来を行ってまいりました。はじめは救急診療エリアの陰圧室1ブースで対応しておりましたが、4月22日には時間外玄関近くに専用のプレハブ診療ブースを設置し、多い時は1日20人以上の患者を診ています。

COVID-19診療において当初の不安材料は、①PCR検査の実施にハードルが高かったこと、②当院の成人用陰圧室は2床、ICUには陰圧室がないこと、③PPEが絶対的に不足していたこと、④ワクチン、確立した治療薬がないことでした。

当初、PCR検査は保健所を介して県衛生研究所で行われる行政検査だけでしたが、5月8日からは当院でも同等のLAMP法検査が可能となりました。検査試薬が不足した時期は、成田キャンパスのゲノム医学研究所に検体を移送してのPCR検査で乗り切りました。今では院内で全ての検体を検査することが可能となっています。

検査体制が整うまで疑似症患者のCOVID-19鑑別に時間を要し、その間の患者管理に苦労しました。当院では5月までに4例のCOVID-19患者を入院、隔離、治療しましたが、それ以外にも60名近くの疑似症肺炎患者をCOVID-19と同様の管理下で治療しました。4月下旬になると陰圧室2床ではこれら全ての患者を診ることが困難となってきたため、小児病棟を丸ごとCOVID-19および疑似症専用病棟としました。現在は院内LAMP検査のお陰でより少ない病床でも安全に診断例、疑似症例を管理することが可能になっています。

栃木県新型コロナウイルス感染対策本部に入院医療調整本部が設置されるまでは重症患者の転院搬送のため調整する体制はありませんでした。感染症指定病院である那須日赤病院の重症患者の受け入れキャパシティを超える可能性があったため、IBICUエリアを陰圧室に準じた空調環境に改造し、COVID-19専用ICUにしました。幸いに第一波・第二波ではここを使用することはありませんでしたが、ハード面の準備はできています。

第一波時には社会活動の多くが制限されたと同様に、当院でも多くの病院機能が制限されました。耳鼻科等の濃厚接触をせざるを得ない診療科は外来診察を制限しました。また、全身麻酔下手術、血管力テール・内視鏡検査・治療も関連学会からの提言に則り、緊急を要する事例以外は延期としました。これらの病院機能を再開するために当院では術前・分娩前を含めた全ての入院患者に対してLAMP検査を実施し、ほぼCOVID-19流行前の病院機能に戻すことができました。

第二波以降、那須地区では散発的な発生だけでCOVID-19の封じ込めには成功しているようですが、これからさらに人の移動が増えて、季節性インフルエンザが流行する時期を迎えるにあたって油断はできません。当院ではインフルエンザとのツインデミックを想定しての発熱外来診療ガイドの変更を検討中です。また、疑い患者受入協力医療機関として引き続き県・関係医療機関と連携してCOVID-19診療を行いつつ、他の疾患に関しても、患者・家族・現場が安心して治療を受けられる体制の構築を進めてまいります。

文責：副院長・感染対策管理室 大竹 孝明



## 医学部臨床実習が始まりました



看護部長  
大草 由美子

### 看護部長ごあいさつ

2019年4月より、田口副院長・看護部長に代わって新たに看護部長に就任しましたので、ひとことご挨拶を申し上げます。

当院は、地域の皆様に対して予防医学から急性期・慢性期医療まで、誕生から高齢まで、地域医療から高度医療まで、と幅広い医療を提供する使命があります。また、この度の新型コロナウイルス感染対策やこれから流行期に入るインフルエンザの対応など地域の先生方と連携して、住民の健康と安心を守るために職員が一致団結して対応させていただいております。

私達看護職は、常に患者さんとご家族の傍らに寄り添い、多職種との連携のキーパーソンとなり、患者さんや地域の先生方の期待と信頼に応えられるよう、日々精進して参ります。

今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



国際医療福祉大学医学部4年生の臨床実習受け入れが今年6月より始まりました。新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、当初の予定から5週間遅れての開始となりました。当院では今年度上半期に、70名の医学生が那須マロニエホテルで寮生活をしながら16週間の実習を行いました。留学生を交えた1チーム7名の構成で、内科系3チーム、外科系3チーム、産婦人科・小児科が2チーム、救急医療と総合診療が2チームの編成です。総合診療科は、国際医療福祉大学塩谷病院で行われました。臨床実習の初日にあたる6月1日には、医学生受入れのため整備された新C棟の6階で白衣式が行われました。大和田倫孝病院長の饒の言葉に引き続いて、医学生全員に白衣着用の儀式を行いました。医学生代表

の中村龍太君からは、日本の未来の医療を担うにふさわしい誓いの言葉が述べられました。上半期の医学生は臨床実習開始時に新型コロナウイルス感染症の遺伝子検査を受けており、十分な予防対策下に、大きな問題なく実習を終えるところでした。上半期の実習は10月末で終了となり、11月からは下半期の実習生70名を受け入れる予定です。当院におきましては、国際性とともにも地域医療の担い手となる、高度で総合的な診療能力を持った医師の育成に尽力してまいります。

文責：副院長 柴 信行



2020/10/1  
国際医療福祉大学病院  
発行：地域医療連携室

地域医療連携室 月曜日～土曜日 9:00～17:30  
医療相談室 月曜日～土曜日 9:00～17:30  
休診日・夜間等の救急紹介の場合は、0287-37-2221（代表）から担当医師に取り次ぎます。  
地域医療連携室ホームページ URL: <http://hospital.iuhw.ac.jp/cooperation/index.html>



# 着任医師 紹介 (4月~10月)

(医師案内順)

## ■循環器内科



相澤 健太郎  
(あいざわ・けんたろう)  
Kentaro Aizawa

不整脈センター副部長  
国際医療福祉大学 病院准教授  
東北大学卒、医学博士  
前東北大学循環器内科助教

日本内科学会認定総合内科専門医、日本循環器学会認定循環器専門医、日本心血管インターベンション学会認定医

【外来診療日:水曜日・第2,4 土曜日】

不整脈疾患を中心に診療を行っている。薬物治療、カテーテルアブレーション、植え込みデバイス治療を総合的に行うことで、不整脈疾患の克服に貢献したいと考えている。

## ■循環器内科



佐藤 公一  
(さとう・こういち)  
Koichi Sato

国際医療福祉大学 病院助教  
東北大学卒 医学博士  
前東北大学大学院循環器内科専攻

【外来診療日: 土曜日】

患者様お一人おひとりに適した、最新かつ過剰のない医療を提供できるよう精進したいと考えている。

## ■循環器内科



藤川 敦史  
(ふじかわ・あつし)  
Atsushi Fujikawa

内科専攻医  
千葉大学卒  
国際医療福祉大学病院初期臨床研修プログラム修了

【外来診療日: 一般内科 月曜日】

内科・循環器内科全般の診療に携わっている。病気の治療のみならず、患者様お一人おひとりと接しながら、それぞれの患者様にあった医療をご提供できるよう努力したいと考えている。

## ■呼吸器内科



白石 守  
(しらいし・まもる)  
Mamoru Shiraiishi

呼吸器内科医長  
山形大学卒 医学博士  
自治医科大学附属病院初期臨床研修修了  
元自治医科大学附属さいたま医療センター呼吸器科シニアレジデント

日本呼吸器学会認定呼吸器専門医、日本内科学会認定内科認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、緩和ケア研修修了

【外来診療日: 水曜日】

呼吸器内科全般を担当している。患者様ご家族に、十分に時間をかけた丁寧な説明を行い、情報を共有したうえで治療方針を決定していきたいと考えている。

## ■呼吸器外科



中野 智之  
(なかの・ともゆき)  
Tomoyuki Nakano

呼吸器外科部長  
国際医療福祉大学 病院准教授  
群馬大学、医学博士  
前さいたま赤十字病院呼吸器外科部長

日本外科学会認定外科専門医、日本呼吸器外科学会認定呼吸器外科専門医、日本呼吸器内視鏡学会認定指導医・気管支鏡専門医、日本呼吸器学会認定呼吸器専門医、厚生労働省認定臨床研修指導医、緩和ケア研修修了

【外来診療日: 月曜日・水曜日・金曜日】

肺がんは、早期発見できれば十分に完治することが可能であり、発症が著しい科学療法や放射線療法と手術を組み合わせることで、進行肺がんに対しても良好な治療実績が得られると考えている。これまでの医療機関で培ってきた肺がんに対する胸腔鏡手術を、この地域で新たに提供できるようにしたいと考えている。

## ■腎臓内科



細谷 幸司  
(ほそや・こうじ)  
Koji Hosoya

腎臓内科部長  
国際医療福祉大学 医学部講師  
富山医科薬科大学卒  
前東京都済生会中央病院、元慶應義塾大学病院

日本内科学会認定内科医、日本腎臓学会認定腎臓専門医、日本透析医学会認定透析専門医、日本抗加齢医学会専門医

【外来診療日: 火曜日・金曜日】

腎臓内科専門医、透析専門医として、急性腎障害、慢性腎不全から血液透析、さらに腹膜透析まで、多数の症例にかかわってきた。地域の皆様の医療に、腎臓・透析疾患の治療を通して貢献していきたいと考えている。

## ■血管外科



高澤 一平  
(たかざわ・いっぺい)  
Ippei Takazawa

川崎医科大学卒  
自治医科大学附属病院初期臨床研修修了  
前自治医科大学心臓血管外科重症心不全治療部助教  
前須磨南病院外科

日本外科学会認定外科専門医、胸部大動脈ステンドグラフト実施医、腹部大動脈ステンドグラフト実施医

【外来診療日: 月曜日・木曜日 午後】

初心を忘れず、わかりやすい言葉での説明を心がけている。病氣、治療に対して十分に理解、納得していただいたうえで、地域の患者様のニーズに合った医療を提供したいと考えている。

## ■消化器内科



大澤 陽介  
(おおさわ・ようすけ)  
Yosuke Osawa

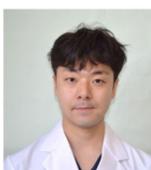
国際医療福祉大学 病院教授  
岐阜大学卒、医学博士  
前国立国際医療研究センター国府台病院第3肝疾患室医長、元東京都立駒込病院肝臓内科医長

日本消化器内視鏡学会認定指導医・消化器内視鏡専門医、日本消化器病学会認定消化器病専門医、日本肝臓学会認定肝臓専門医、日本内科学会総合内科専門医、日本ヘリコバクター学会認定ピロリ菌感染症認定医

【外来診療日: 火曜日・水曜日】

消化器内科を担当している。これまでも、大学病院や公立病院で地域の先生方と連携しながら診療してきた。この地域の先生方とも緊密に連携しながら、患者様に親身な診療をしていきたいと考えている。

## ■消化器内科



秋田 貴之  
(あきた・たかゆき)  
Takayuki Akita

内科専攻医  
杏林大学卒  
国際医療福祉大学病院初期臨床研修プログラム修了

日本医師会認定産業医

【外来診療日: 一般内科 火曜日】

内科専攻医として、消化器内科の診療に携わっている。生活の質にも配慮した診療を心がけている。

## ■腎泌尿器外科



松本 吉隆  
(まつもと よしたか)  
Yoshitaka Matsumoto

筑波大学卒  
前筑波メディカルセンター病院

【外来診療日: 火曜日・木曜日】

患者様の現在の状況から、最善の医療をご提供できるように心がけていきたいと考えている。

## ■腎泌尿器外科



安藤 高志  
(あんどう・たかし)  
Takashi Ando

筑波大学卒  
前筑波学園病院

【外来診療日: 土曜日】

泌尿器系の疾患全般を担当する。安全な医療を第一に、ていねいな説明と同意、QOL(生活の質)の重視を基本姿勢としている。エビデンスに基づく標準的医療を提供し、医療の側面から生活をサポートしたいと考えている。

## ■小児科



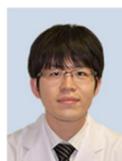
若江 恵三  
(わかえ・けいぞう)  
Keizo Wakae

東京医科大学卒  
前自治医科大学附属病院後期研修医兼臨床助教

【外来診療日: 第2,4 水曜日・金曜日・第1,5 土曜日】

患者様に寄り添い、いちばん身近な存在として、よりよい医療をご提供したいと考えている。

## ■外科



中瀬古 裕一  
(なかせこ・ゆういち)  
Yuichi Nakaseko

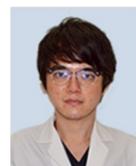
消化器外科  
東京慈恵会医科大学卒、医学博士  
前熊谷外科病院外科

日本外科学会認定外科専門医、日本消化器外科学会認定消化器外科専門医・消化器がん外科治療認定医、インフェクションコントロールドクター、日本静脈経腸栄養学会TNTコース修了、ALTA療法施行医、緩和ケア研修修了

【外来診療日: 土曜日】

消化器外科を全般に担当し、特に肝胆脾外科を専門としている。内視鏡外科も積極的に取り入れることで、よりよい医療を患者様へご提供している。また、感染治療や栄養管理、緩和医療など、総合的に患者様の治療に尽力している。

## ■外科



中島 啓吾  
(なかしま・けいご)  
Keigo Nakashima

消化器外科  
東京慈恵会医科大学卒  
前川口市立医療センター消化器外科

日本外科学会認定外科専門医、緩和ケア研修修了

【外来診療日: 木曜日】

肝胆脾を中心に、消化器外科全般を担当している。患者様お一人おひとりに寄り添い、最適な治療をご提供できるよう努めている。

## ■外科



甲斐 亘  
(かい・わたる)  
Wataru Kai

消化器外科  
熊本大学卒  
前国立西埼玉中央病院外科

患者様の立場になって、お一人おひとりの心に寄り添いながら日々診察をしている。

## ■小児外科



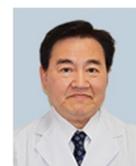
渡邊 峻  
(わたなべ・しゅん)  
Shun Watanabe

獨協医科大学卒  
前獨協医科大学病院第一外科

日本外科学会認定外科専門医

地域の皆様に信頼される、安心の医療をご提供できるよう努めたいと考えている。

## ■産婦人科



竹島 信宏  
(たけしま・のぶひろ)  
Nobuhiro Takeshima

産婦人科部長  
国際医療福祉大学 病院教授  
山口大学卒、医学博士  
昭和大学客員教授、三重大学客員教授  
前がん研有明病院婦人科部長

日本産科婦人科学会認定指導医・産婦人科専門医、日本婦人科腫瘍学会認定指導医・婦人科腫瘍専門医、日本臨床細胞学会認定細胞診専門医・教育研修指導医、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医、日本内視鏡外科学会技術認定医、日本ロボット外科学会B級ライセンス、日本がん治療認定医機構認定医、Best Doctors in Japan 2017~2021

【外来診療日: 水曜日・金曜日】

子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんの治療を行っている。開腹手術・腹腔鏡手術・ロボット手術など最新の治療を行っている。化学療法、放射線治療法などとともに、最高の治療の提供に努めたいと考えている。

## ■産婦人科



泉 遼  
(いずみ・りょう)  
Ryo Izumi

秋田大学卒  
前自治医科大学附属病院産婦人科臨床助教

【外来診療日: 第1,3,5 水曜日・水曜日】

すべての患者様によりよい医療をご提供できるよう、日々全力で学んでいくことを信条としている。

# 着任医師 紹介 (4月~10月)

## ■ 整形外科



須藤 悦宏  
(すどう・よしひろ)  
Yoshihiro Sudo

整形外科部長  
救急医療部副部長

日本医科大学卒 医学博士  
前日本医科大学多摩永山病院 整形外科

日本整形外科学会認定整形外科専門医

【外来診療日:火曜日・水曜日】

各分野の整形外科専門医の視点から、お薬やリハビリによる保存的治療だけでなく、手術治療など、それぞれの患者様にあわせたベストな治療をご提供しながら皆様をサポートしたいと努めている。また、地域の医療機関や施設の皆様と連携を深めることで、地域医療、介護に貢献したいと考えている。

## ■ 整形外科



正木 直  
(まさき・ただし)  
Tadashi Masaki

福岡大学卒  
前北村山公立病院整形外科部長

日本整形外科学会認定整形外科専門医

【外来診療日: 金曜日】

整形外科一般、外傷を担当している。患者様にわかりやすい説明を心がけ、よりよい医療をご提供できるよう努めている。

## ■ 整形外科



明石 裕貴  
(あかし・ゆうき)  
Yuki Akashi

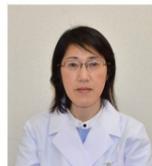
自治医科大学卒  
前呉羽総合病院整形外科

日本整形外科学会認定整形外科専門医

【外来診療日: 月曜日】

外傷、下肢人工関節・スポーツを中心に、整形外科一般を担当している。わかりやすい説明と温かい心で、患者様にベストな医療をご提供できるよう努めている。

## ■ 眼科



伊藤 洋子  
(いとう・ようこ)  
Yoko Ito

国際医療福祉大学 病院講師  
群馬大学卒、医学博士

日本眼科学会認定眼科専門医

【外来診療日:月曜日・木曜日・土曜日予約のみ】

糖尿病網膜症などの眼底疾患を専門としている。患者様がご自身の病状についてご理解いただけるように、分かりやすく説明することを心掛けている。加えて、今後の治療方針や予測される病状の変化についても丁寧に説明し、不安を軽減できるよう努めたいと考えている。

## ■ 眼科



林 あゆみ  
(はやし・あゆみ)  
Ayumi Hayashi

秋田大学卒  
前自治医科大学眼科学講座臨床助教

【外来診療日:月曜日・火曜日・金曜日】

眼科一般の診療および、主に白内障の手術を担当。眼科医として日々研鑽を重ね、患者様一人ひとりに寄り添った医療を提供できるよう努めたいと考えている。

## ■ 皮膚科



小田垣 彩花  
(おだがき・あやか)  
Ayaka Odagaki

滋賀医科大学卒  
前東京大学医学部附属病院

【外来診療日:月曜日・火曜日・木曜日】

ざ瘡(ニキビ)をはじめとした、一般的な疾患に力を入れていく。患者様お一人おひとりに真摯に診療に取り組む心がけている。

## ■ 形成外科



阿部 絵里香  
(あべ・えりか)  
Erika Abe

東京女子医科大学卒  
前慶應義塾大学病院形成外科、  
元東京都済生会中央病院形成外科  
元慶應義塾大学病院初期臨床・床研修医

【外来診療日:月曜日・水曜日・木曜日】

常に、患者様とご家族の心に寄り添った医療を心がける医師でありたいと考えている。患者様が些細なことでも相談しやすいよう、日々のコミュニケーションを大事にしている。

## ■ 麻酔科



足立 裕史  
(あだち・ゆうし)  
Yushi Adachi

麻酔科副部長、ICU副部長  
国際医療福祉大学 病院教授  
防衛医科大学校卒、医学博士  
前名古屋大学大学院医学系研究科准教授、元航空自衛隊医官

日本麻酔科学会認定指導医・麻酔科専門医、日本集中治療医学会認定集中治療専門医、日本ペインクリニック学会認定ペインクリニック専門医、日本DMAT隊員

高度先端医療にかかわりながら、プライマリケア、家庭医、産業医、さらに救急医を経験してきた。麻酔科の専門性を生かして、集中治療室を中心として急性期治療に貢献したいと考えている。自身の家族、身内に対するものと同じ姿勢での診療を心がけている。

## ■ 麻酔科



正木 英世  
(まさき・はなよ)  
Hanayo Masaki

福岡大学卒  
前北村山公立病院、元東京女子医科大学病院

日本麻酔科学会認定医

手術麻酔全般を行っている。患者様が安心して手術を受けられるよう、術前訪問の際は、麻酔方法のついてわかりやすい説明を心がけている。

# 着任医師 紹介 (4月~10月)

## ■ 病理診断科



土橋 洋  
(どばし・よう)  
Yoh Dobashi

病理部副部長  
国際医療福祉大学 病院教授

自治医科大学総合医学第1講座・非常勤講師、金沢大学大学院医学研究科非常勤講師  
自治医科大学臨床研究センター・管理部委員、前自治医科大学さいたま医療センター・病理診断科准教授

日本病理学会認定・病理専門医・研修指導医、日本臨床細胞学会認定教育研修指導医・細胞診断専門医

病理診断という医療のめだたない分野において、「縁の下の力持ち」と言われるように、日々の業務に精進したいと考えている。

## ■ 歯科口腔外科



神部 芳則  
(じんぶ・よしのり)  
Yoshinori Jinbu

歯科口腔外科部長  
国際医療福祉大学 病院教授

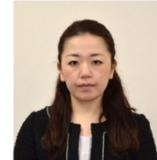
神奈川歯科大学、医学博士  
神奈川歯科大学客員教授、自治医科大学非常勤講師、北海道大学非常勤講師、前自治医科大学教授

日本口腔外科学会認定指導医・口腔外科専門医、日本口腔内科学会指導医・専門医、日本有痛者歯科医療学会指導医・専門医、日本口腔診断学会指導医・認定医、日本歯科放射線学会指導医

【外来診療日:月曜日・火曜日・水曜日・木曜日】

手術が必要な口腔外科的疾患、薬物療法が主体の口腔内科的疾患、基礎疾患を有する方の歯科治療など幅広く対応している。

## ■ 歯科口腔外科



山川 道代  
(やまかわ・みちよ)  
Michiyo Yamakawa

昭和大学卒、歯科博士  
前自治医科大学歯科口腔外科臨床助教

日本老年歯科医学会専門医、日本障害者歯科学会認定医、日本口腔科学会認定医

【外来診療日:月曜日・水曜日・木曜日・第2・4土曜日】

患者様お一人おひとりの、お口の健康を守るお手伝いのできればと考えている。

## ■ 初期臨床研修医



岩井 孝憲  
(いわい たかのり)  
Takanori Iwata

金沢大学卒

## ■ 初期臨床研修医



小池 隆史  
(こいけ たかし)  
Takashi Koike

帝京大学卒

## ■ 初期臨床研修医



高本 哲史  
(たかもと さとし)  
Satoshi Takamoto

藤田医科大学卒

## ■ 初期臨床研修医



藤川 風声  
(ふじかわ ほうせい)  
Housai Fujikawa

東邦大学卒

## ■ 初期臨床研修医



渡邊 仁美  
(わたなべ さとみ)  
Satomi Watanabe

秋田大学卒

## ■ 初期臨床研修医



岡本 圭太  
(おかもと けいた)  
Keita Okamoto

秋田大学卒

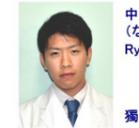
## ■ 初期臨床研修医



澤田 純  
(さわだ じゅん)  
Jun Sawada

帝京大学卒

## ■ 初期臨床研修医



中村 亮太郎  
(なかむら りょうたろう)  
Ryoutarou Nakamura

獨協医科大学卒

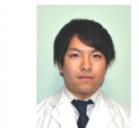
## ■ 初期臨床研修医



箕浦 佑佳  
(みのうら ゆか)  
Yuka Minoura

獨協医科大学卒

## ■ 初期臨床研修医



渡邊 直貴  
(わたなべ なおき)  
Naoki Watanabe

弘前大学卒

## ■ 初期臨床研修医



金谷 正樹  
(かなや まさき)  
Masaki Kanaya

延世大学卒

## ■ 初期臨床研修医



篠原 拓実  
(しのはら たくみ)  
Takumi Shinohara

獨協医科大学卒

## ■ 初期臨床研修医



西島 大二郎  
(にしじま だいじろう)  
Daijirou Nishijima

福岡大学卒

## ■ 初期臨床研修医



望月 伸浩  
(もちづき のぶひろ)  
Nobuhiro Mochizuki

日本医科大学卒

## ■ 初期臨床研修医



具 雄書  
(ぐ うんしょ)  
Gu Unsho

旭川医科大学卒

## ■ 初期臨床研修医



高木 邦康  
(たかぎ くにやす)  
Kuniyasu Takagi

東京慈恵会医科大学卒

## ■ 初期臨床研修医



長谷川 大  
(はせがわ だい)  
Dai Hasegawa

岩手医科大学卒

## ■ 初期臨床研修医



山田 英彦  
(やまだ ひでひこ)  
Hidehiko Yamada

東京医科歯科大学卒

